



アンドレア・バッケッティ ピアノ・リサイタル

2016年

10/28 [金]

19:00開演(18:30開場)

京都コンサートホール
(アンサンブルホールムラタ)

J.S.バッハ *Bach*

イギリス組曲 第5番

ホ短調 BWV810

J.S.Bach: English Suite No.5 in e minor BWV 810

フランス組曲 第5番

ト長調 BWV816

J.S.Bach: French Suite No.5 in G major BWV 816

イギリス組曲 第2番

イ短調 BWV807

J.S.Bach: English Suite No.2 in a minor BWV 807

フランス組曲 第1番

二短調 BWV812

J.S.Bach: French Suite No.1 in d minor BWV 812

イタリア協奏曲

ヘ長調 BWV971

J.S.Bach: Italian Concerto in F major BWV 971

モーツァルト *Mozart*

ロンド

二長調 K.485

Mozart: Rondò in D major K 485

ピアノ・ソナタ 第13番

変ロ長調 K.333

Mozart: Sonata in B flat major K 333

イタリアが生んだ鬼才ピアニスト



入場料: 全席指定 ¥4,500

会員 ¥4,000(京都コンサートホール・ロームシアター京都Club会員・京響友の会会員)

会員先行: 5/3[火・祝]10:00~ / 一般発売: 5/10[火]10:00~

主催: ヒラサ・オフィス

共催: 京都市/京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

協賛: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

後援: 村田機械株式会社

*未就学児の入場はご遠慮ください。

*都合により内容等変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■チケットのご予約・お問い合わせ

京都コンサートホール 075-711-3231(10:00~17:00 第1・第3月曜休)

■24時間いつでも!

オンラインチケット購入

京都コンサートホール

検索

■プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 296-235)

e+(イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯・スマートフォン)

ロームシアター京都 075-746-3201(10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

Andrea Bacchetti

piano recital



2014年7月「強く繊細、油断ならぬ才能」(朝日新聞)、「独特な感性 如実に」(読売新聞)と評され、そのバッハとモーツァルトの演奏で驚きを持って迎えられたイタリア人ピアニスト アンドレア・バッケッティが帰って来ます。

今回も、得意とするバッハとモーツァルトによるプログラムで他のピアニストでは聴く事ができない何かを聴かせてくれるものと期待が高まるばかりです。

2012年夏、札幌で行われたPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に指揮者ファビオ・ルイジの強い推薦で登場した際は、そこに参加していた若い音楽家たちから「バッケッティは天才的ピアニストだ」と驚きをもって迎えられました。これぞライブと言うにふさわしい、新鮮で躍動感あふれる演奏をお楽しみください。

アンドレア・バッケッティ

2014年8月4日 朝日新聞 (夕刊)

強く繊細 油断ならぬ才能

イタリアのピアニスト、アンドレア・バッケッティが日本で初のリサイタルツアーを行った。今年37歳「21世紀のグールド」とも評される彼のバッハとモーツァルトを聴く(7月14日、東京・飯田橋のトッパンホール)。

小柄で細身。コミカルな動きは「モダン・タイムス」のチャプリンのようだ。強い打鍵では腰を浮かせ、あわや立ち上がりらんばかり。背中を丸めて頭を突き出し、すばやいパッセージの前には膝を両こぶしてたたいて、気合を入れる。

あつげにとられたのはそれだけではない。彼のバッハには不穏な空気がただよう。微妙に伸縮しながら横の流れをていねいに紡ぎ、すばやい装飾で耳を奪った「トッカータ 短調」。「ゴルトベルク変奏曲」は冒頭の主題こそ端正だったものの、変奏を重ねるにつれて表現の振幅が大きくなった。反復はすべて省略。速いテンポ、強靱なタッチでくつきりと線を描き、ときおり乱暴なほどたく。

最初から気になっていたのはバッハを録音したCDのやわらかな響きとのちがいが。当夜のピアノはCDとは異なるスタインウェイ。バッケッティは楽器をねじ伏せず、むしろ自由自在に寄り添っていくのだ。

モーツァルトではスタインウェイの深みが生きた。緩やかな音の運動からはじまる「幻想曲 二短調」。ほんの少し水を含んだような重みと憂いをたたえた音がいい。ハ長調の「ピアノソナタ第10番」は聴きなれたシンプルな主題が影をまとう。初学者でもよく弾く曲だが、彼がねばるようなレガートとノンレガートの奏法を使い分け、細やかな強弱をほどこすと、ソナタらしい奥行きをあらわにした。

バッハやショパンを次々と弾いたアンコールの鮮やかさ! 実に油断のならない才能だ。

(白石美雪・音楽評論家)

イタリアの鬼才バッケッティがその個性を全開! 徹底的にポリフォニックで、音楽の喜びがあふれ出る21世紀のバッハ。

アンドレア・バッケッティ+バッハ・エディション



JOHANN SEBASTIAN BACH

KEYBOARD CONCERTOS
BWV 1052-1056 & BWV 1058

ORCHESTRA SINFONICA NAZIONALE DELLA RAI

ANDREA BACCHETTI

アンドレア・バッケッティ+バッハ・エディション 3

J.S. バッハ: ピアノ協奏曲集

J.S. バッハ

DISC 1

ピアノ協奏曲 第1番 二短調 BWV1052
ピアノ協奏曲 第2番 ホ長調 BWV1053
ピアノ協奏曲 第3番 二長調 BWV1054
ピアノ協奏曲 第4番 イ長調 BWV1055

DISC 2

ピアノ協奏曲 第5番 ヘ短調 BWV1056
ピアノ協奏曲 第7番 ト短調 BWV1058

RAI国立交響楽団(弦楽アンサンブル)
アンドレア・バッケッティ(ピアノ&指揮)

録音: 2014年7月30日&31日、イタリア、トリノ/RAIオーデトリウム
2CD: SICC-30266-7 定価¥2,900+税

シリーズ最新盤・2016年5月25日発売

アンドレア・バッケッティ+バッハ・エディション 1



イタリア協奏曲

~バッケッティ・ブレイズ・バッハ
DISC 1 《イタリア様式の(バッハ)》
DISC 2 《バッケッティ・ブレイズ・バッハ、
スカルラッティ、マルチェッロ、ガルツピ》

録音: 2007年~2013年
日本独自企画による2枚組
2CD: SICC 30167-8 定価¥2,778+税

アンドレア・バッケッティ+バッハ・エディション 2



J.S. バッハ:

フランス組曲第1番~第6番(全曲)
バルティータ 第2番 BWV826

録音: 2011年
2CD: SICC 30198-9 定価¥2,900+税

BSC02

Sony Music Japan International

SONY CLASSICAL